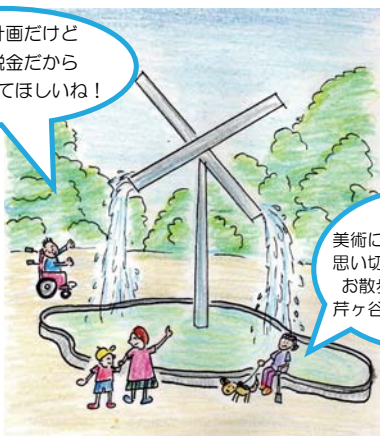


私たちは、「芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム」計画の再考を求めます！！

1 市民や利用者の意見・要望を聞き、適切に反映させるプロセスを踏んでいない！

大きな計画だけど
大切な税金だから
有効に使ってほしいね！



美術に触れたり、体を
思い切り動かしたり、
お散歩したり・・・
芹ヶ谷公園、大好き！

町田市は計画の内容を基本設計の完了まで具体的に示さず、心配する市民の要請でようやく開催した説明会でも、様々な意見・要望に全く耳を傾ける姿勢を見せていません。

2 工芸美術館の建設により谷戸の地形が削られ、多くの樹木が伐採される！



芝好園側からの景色

公園の斜面(点線箇所)に
工芸美術館を建設すると、
周りの樹木が約450本も
伐採され、緑豊かな景観
が失われます。

たくさんの生き物の
すみかである自然を
大切にしたいな！

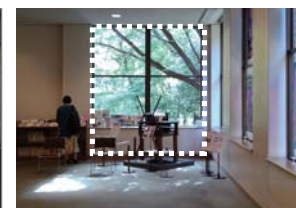


3 版画美術館の良質な空間が損なわれ、大切な工房や心地よい喫茶室が移転させられる！



1F ロビー前の池

工芸美術館とつなぐために池がなくなり、
窓も塞がれて魅力的な景色が失われます。



2F 窓からの眺め



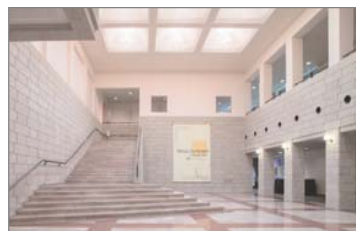
工房



喫茶室

工房と喫茶室が版画美術館の外へ移転させられます。

4 生活通路のエレベーターが、版画美術館の奥の使いにくい場所に無理やり設置される！



版画美術館 エントランスホール

版画美術館の中を通らないと
エレベーターを使えません。
自転車は利用できません。
夜間は利用できません。
版画美術館のエントランス
ホールの雰囲気が壊されます。
虫や湿気等、版画美術館の
美術作品に悪影響が及びます。
安全確保のための警備費用が
かさみます。



自転車も乗れる
エレベーターが
使いやすい場所に
ほしいわ！

5 桜並木のアプローチやモミジの林が潰され、不要なデッキスロープや橋がつくられる！



南口アプローチの桜並木

無理にスロープをつくること
で、階段が狭まり、多くの桜
の枝が切り落とされます。



既存の展望台から見えるモミジ

新たな橋のために既存の展望
台正面のモミジがすべて伐採
されてしまいます。
高所を通過する橋は恐怖感
があり、転落の危険があります。

6 工事費が、一度否決された以前の計画や他の類似施設と比較して異常に高すぎる！

事業費を削減するはずが高くなっています

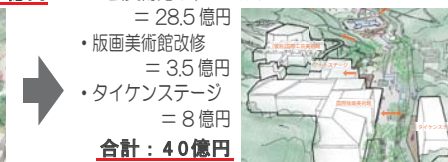
＜以前の計画＞(2016年)
・工芸館(3,000㎡) = **32億円**

＜現在の計画＞
・工芸美術館(2,150㎡)
= 28.5億円

・版画美術館改修
= 3.5億円

・タイクンステージ
= 8億円

合計：40億円



工芸美術館の工事費が高すぎます

竣工年	美術館名称	規模 (延べ床㎡)	㎡単価 (万円/㎡)
2025 ?	工芸美術館	2,150	132.7
2017	富山県立美術館	14,900	58
2017	漱石山房記念館	1,276	72
2017	すみだ北斎美術館	3,278	89
2013	森鷗外記念館	1,360	48
2008	十和田市現代美術館	2,078	36

国際工芸美術館建設により、芹ヶ谷公園の環境が大きく変わります



芹ヶ谷会館前入口：
門柱や樹木がなくなり、大型車両の出入口になります。



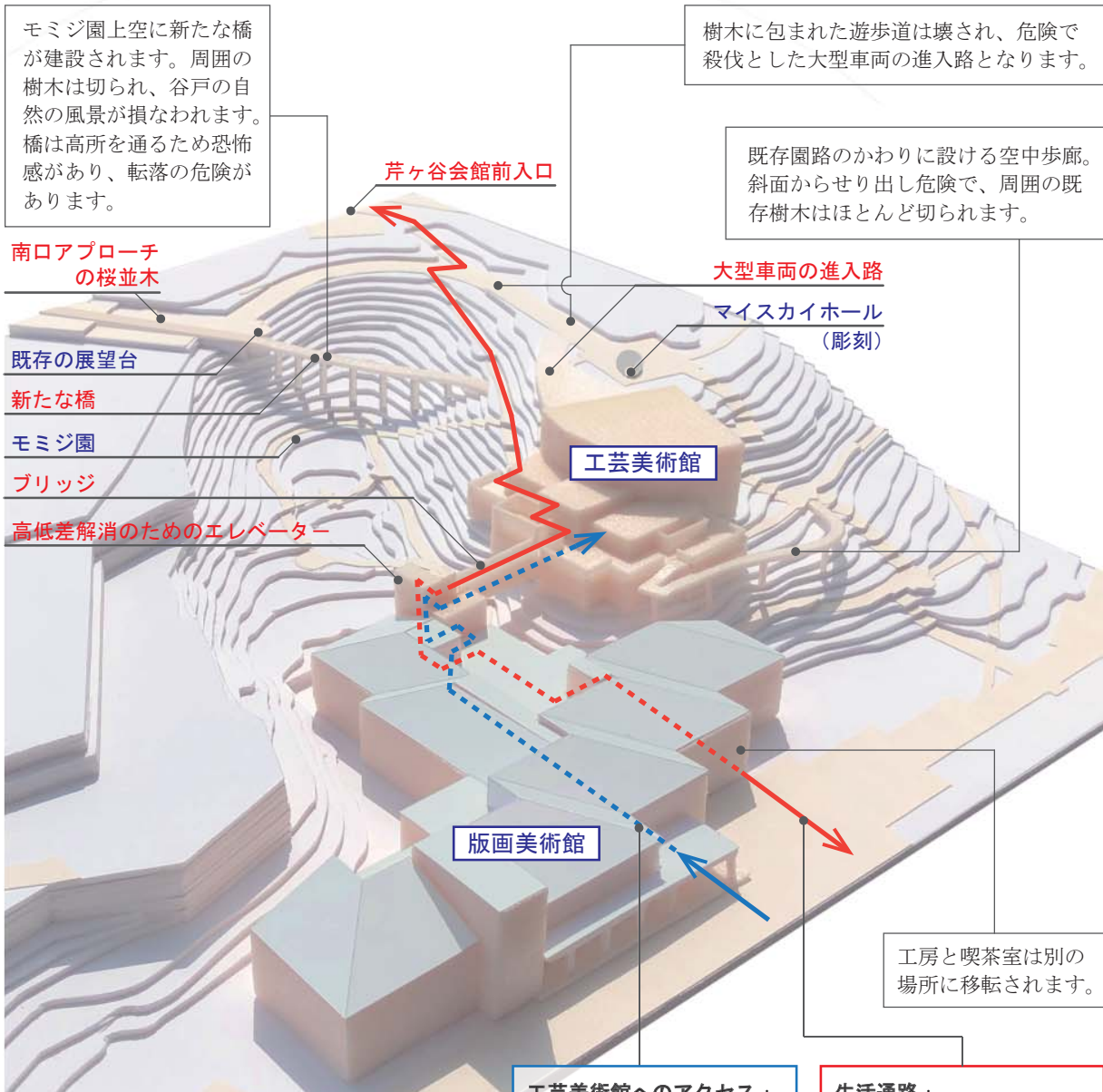
南口アプローチの桜並木：
無理にスロープがつくられて幅が狭まり、桜の枝も多くが切り落とされます。



樹木に包まれた遊歩道：
周囲の樹木が伐採され、危険な大型車両の進入路となります。



芝好園側からの景色：
斜面（点線箇所）の緑が全て無くなり、高台にかけて工芸美術館がそびえ立ちます。



詳しくはこちらの
ホームページを
ご覧ください。



<https://serigaya.wixsite.com/serigaya-forum>

工芸美術館へのアクセス：
版画美術館のエントランスから2F ロビーに上がり、更に階段を上がり、ブリッジを渡って工芸美術館に入る、とても複雑な計画です。

生活通路：
版画美術館の中を通る為、利用時間が制限されます。館内の通路は扉7箇所、曲がり角10カ所と複雑で、大変わかりにくいです。



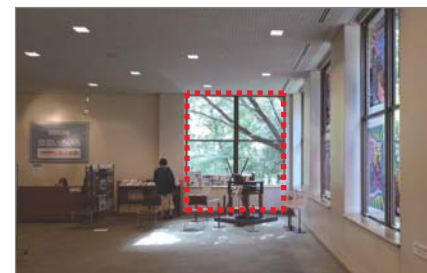
喫茶けやき：
工房とともにこの場所からなくなります。



版画美術館エントランス：
生活通路となり現在の落ち着いた雰囲気失われます。



版画美術館 1F ロビー前の池：
エレベーターで塞がれ池がなくなります。



版画美術館 2F ロビー：
窓からの景色が失われ、生活通路から展示室に土埃や雨水が持ち込まれます。